

VII-248

漂着ゴミによる海岸汚染

—外国からのゴミ—

防衛大学校 正会員○山口晴幸
茨城大学理学部 横山芳春
三井建設㈱ 正会員 福田 誠
三井建設㈱ 正会員 黒島一郎

筆者らは、1992年7月より、日本列島の海岸線を回り、主に砂浜・海岸に関する環境調査活動を継続して

●：外国からの漂着ゴミ確認海岸域

：調査海岸域の地域別区分

() の表示：(調査海岸地点数×確認ゴミ個数(個)×調査海岸総距離(km))

◎：特に外国ゴミの多い海岸域

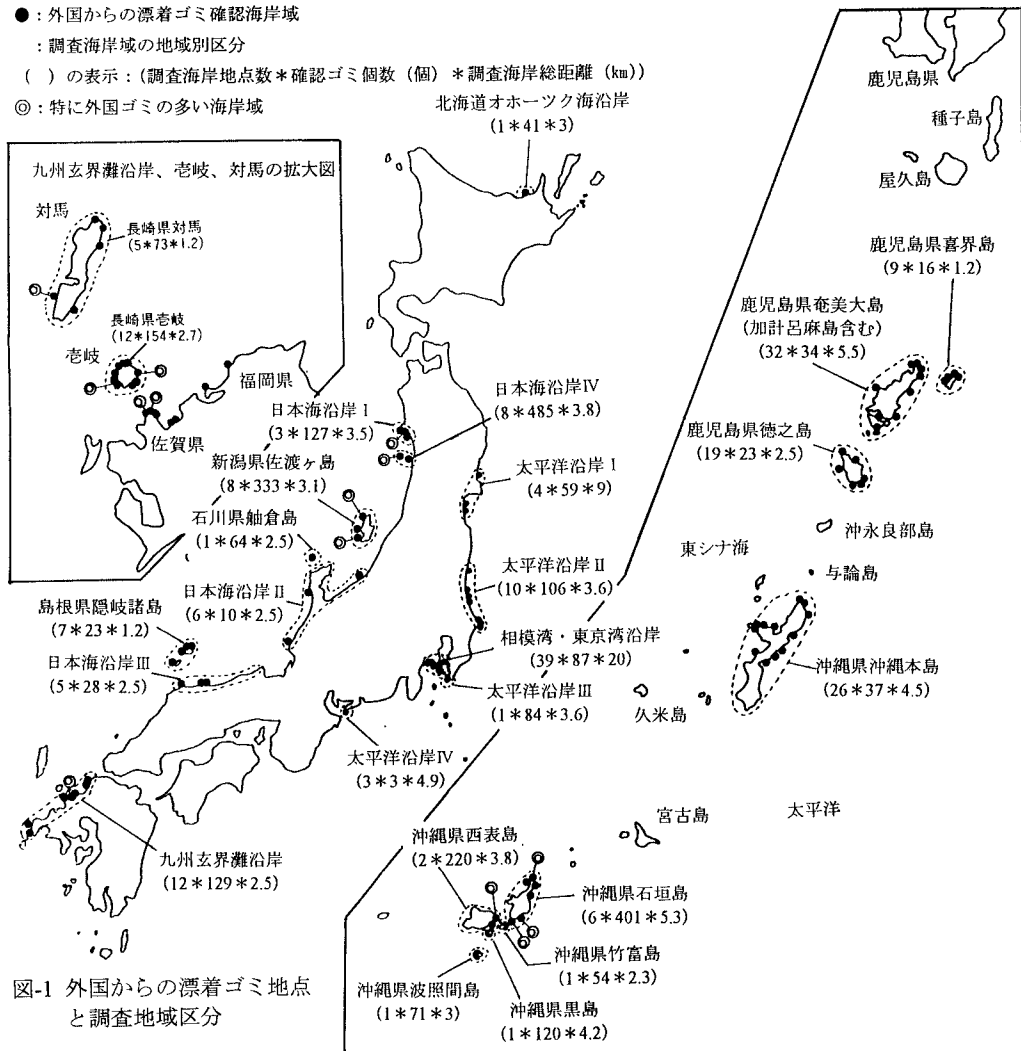


図-1 外国からの漂着ゴミ地点と調査地域区分

キーワード：漂着ゴミ／外国製漂着ゴミ／海岸汚染／海岸保全

〒239-8686 横須賀市走水 1-10-20、TEL 0468-41-3810、FAX 0468-44-5913

〒239-0811 横須賀市馬堀町 3-78、TEL 0468-43-1455、FAX 029-251-0830

〒261-0023 千葉県美浜区中瀬 1-9-1 TEL 043-212-7545、FAX 043-212-7540

同上

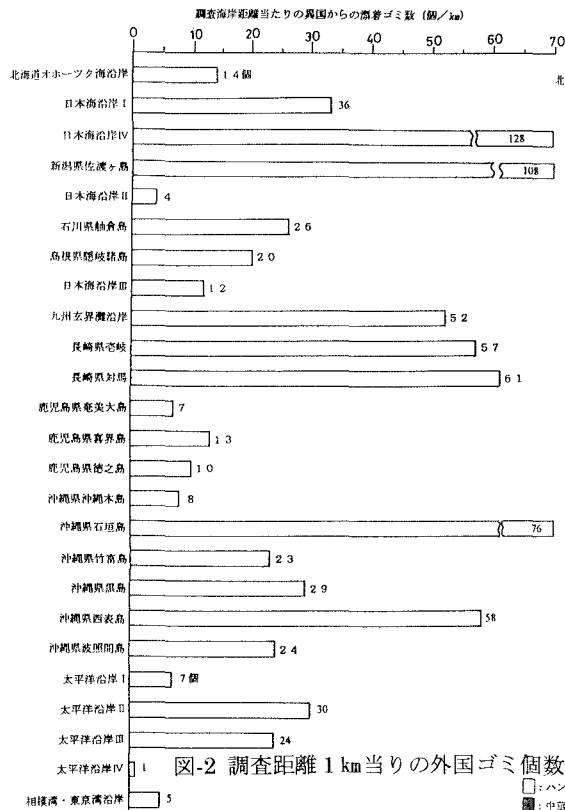


図-2 調査距離1km当りの外国ゴミ個数

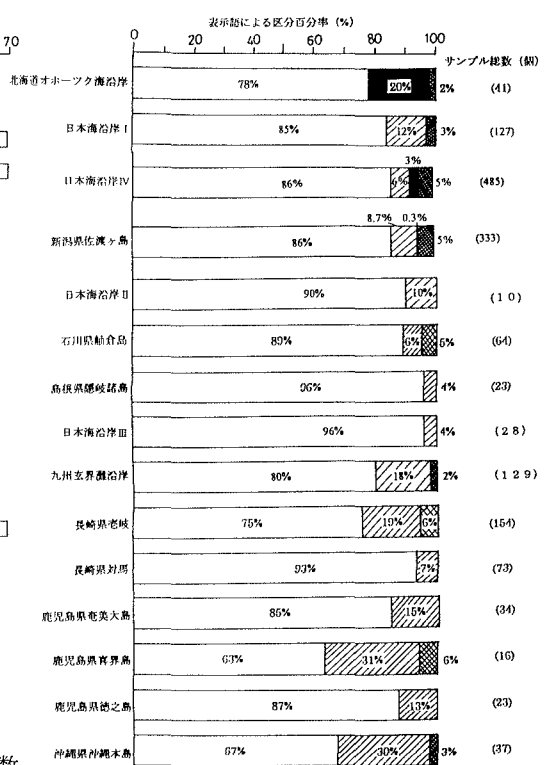


図-3(a) 外国ゴミのタイプ区分 (沖縄本島より以北)

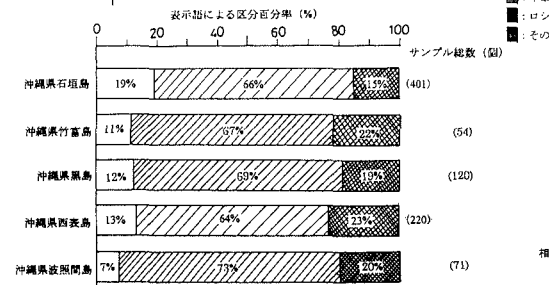


図-3(b) 外国ゴミのタイプ区分 (沖縄本島より以南)

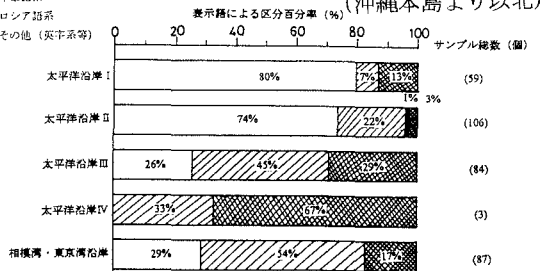


図-3(c) 外国ゴミのタイプ区分 (太平洋側)

いる。本報告では、外国から漂着するゴミによる海岸汚染問題を取り上げる。1997年2月から1998年1月の期間で224地点の海岸域での調査を実施した。現地調査では、海岸域での目視観察によって、外国からの漂着ゴミの個数と調査した海岸距離を記録した。外国からの漂着ゴミが確認された海岸地点数は、調査海岸地点総数（224箇所）の60%（135箇所）を占め、北海道オホーツク海沿岸から先島群島に亘る広域な海岸域に及んでいる。図-2には、224箇所の調査地点を24地域に区分し、単位距離（1km）当りの外国ゴミの平均的個数を示している。外国からの漂着ゴミの多い海岸域は、日本海IとIV及び佐渡ヶ島、九州玄界灘沿岸と老岐・対馬及び石垣島・西表島の東シナ海の島々で、30個/km以上となっている。取り分け多いのは、日本海沿岸IVと佐渡ヶ島で、128と108個/kmに達している。また太平洋側にも外国ゴミの多い地域も認められる。図-3(a)~(c)に示すように、外国ゴミにも特徴が認められる。沖縄本島より以北ではハンブル語系ゴミ、それより以南では中華語系ゴミが主体で、東北や北海道地域では、ロシア語系ゴミも確認できる。また太平洋側にもハンブル語系ゴミが目立つ。日本列島が外国からの漂着ゴミによりゴミ箱と化さないようにするためにも、国機関等の早急な調査・対策が必要と思われる。